

# 令和7年度「第2回いじめアンケート」の結果について

舞鶴市立倉梯第二小学校

舞鶴市立小中学校で11月に本年度2回目となる「いじめアンケート」を実施しました。また、それをもとに、児童との「個別面談」を行いました。アンケートの結果についてお知らせします。

## なぜいじめアンケート(個別面談)を実施するの？

- ・いじめを「早期発見」し、「早期対応」します。
- ・児童の抱えている困りごとや人間関係のトラブルなどを広く把握し、指導に活かします。
- ・児童一人一人と個別に面談することを通し、児童との信頼関係を深めます。
- ・アンケートを通し、「いじめ」について考えたり、意識を持たせたりします。



## 1. アンケートの内容と結果

○下記(1)～(9)の項目にてアンケートを実施

○第1回アンケート(6月)を終えた7月から第2回アンケートを実施した日までの結果

一人の児童が該当する項目すべてを回答できるため、児童数と認知件数が合致しないこともあります。舞鶴市教育委員会へは、認知件数を報告しています。

### ◇ 全校児童213名中(11月現在)

・嫌な思いをしたことが「ある」と答えた児童数	25名
・嫌な思いを認知した件数	36件

解消 25名

- 行為も止んでおり嫌な思いもしていない児童数 25名
- 行為は止んでいるがまだ少し嫌な思いが残っている児童数 0名

未解消 0名

- 行為が止まず、嫌な思いをしている児童数 0名

### ◇ いじめ調査(1回目:6月)の追跡調査について

・1回目の調査におけるいやな思いを認知した件数	35件
・3カ月経過時(今回の面談)における解消件数	35件
・3カ月経過時の指導・支援・見守りの必要な件数	0件

時間が経過して「解消している」状態に至った場合でも、いじめが再発する可能性があることを十分に踏まえ、日常的に注意深く観察を行い必要なケアや指導を実施してきました。6月分の調査で未解消となっているのは0件ですが、今後も継続して見守りをしていきます。

## (1)～(9)の項目の詳細

回答で同様の内容はまとめているので、認知件数と合わない項目があります。個人面談で担任が聞き取った内容も含んでいます。

(1) 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われていやだと思ったことがありますか?(14件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

- ・賞状をもらったときに「調子に乗っとる」と言われた。
- ・中指を立てられた。
- ・〇〇ちゃんには言っていない。と冷たい口調で言われた。
- ・どっか行けと言われた。
- ・顔を動物に例えられた。
- ・ザコ、チビ、死ねと言われた。
- ・なんでポケモン知らんのに、ポケモンの服着とん?と言われた。
- ・アホ、だまれと言われた。
- ・きつい言い方をされた。
- ・いやな言い方で呼ばれた。

(2) 仲間はずれ、集団による無視にあって困ったことがありますか。(5件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

- ・「クラスのみんな〇〇さんと遊ばんことにした」と言われた。
- ・友達を遊びに誘ったとき断られたのに、他の友達と遊んでいた。
- ・のけ者にされた。
- ・呼んだのに無視された。

(3) 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりして困ったことがありますか？(4件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

・蹴るふり殴るふりをして遊んでいたら足が当たった。 ・おしりをたたかれた。 ・蹴られた。

(4) ひどくぶたれたり、たたかれたり、蹴られたりして困ったことがありますか。(5件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

・頭を持って横に押された。 ・髪を強く引っ張られた。 ・叩かれた。 ・蹴られた。 ・ぶつかられた。

(5) お金やものをむりやり「持ってこい」と言われて困ったことがありますか。(0件)

(6) 持ち物を隠されたり、こわされたり、捨てられたり、お金を盗まれたりして困ったことがありますか。(1件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

・断りもなく自分の自転車を友達に乗られた。

(7) いやなこと、はずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりして困ったことがありますか。(7件)

【回答内容】(担任が個人面談で聞き取った内容を含む)

・図書室のバーコードリーダーの光を目に当てられた。 ・舌打ちをされた。 ・にらまれた。  
・好きな人を言いふらされた。 ・話に割り込まれた。 ・教室に入ろうとした瞬間、扉を閉められた。  
・ひっついてこられた。

(8) パソコンや携帯電話・スマートフォンで悪口を書かれ、いやな思いをしたことがありますか。(0件)

(9) その他(0件)

「いじめをなくすにはどうすればよいか。」というアンケート項目には、以下のような内容が見られました。

・いやなことをしたら謝る。 ・いやなことをされてもやり返さず、「やめて」とはっきり言う。 やめてくれなかったら先生や家の人に言う。 ・自分がされていやなことは、人にしない。 ・自分の話だけではなく、人の話も聞く。 ・けんかやいじめを見かけたら止める。 ・注意されたらすぐにやめる。 ・きつい言い方をしない。 ・人をばかにしない。 ・一緒に遊ぼうと誘う。 ・していいことや悪いことや考えてから行動する。 ・見て見ぬふりをしない。 ・年上・年下、男女に関係なく平等に接する。 ・「～が気に入らない」と思うのではなく「個性」として認めていく。

## 2. 11月の「いじめ対策強化月間の取組」～アンケート調査と合わせて実施した取組～

- 全児童を対象とした個別面談（困っていることや悩んでいることについて、一人一人と面談を実施）
  - ・ 上記アンケートで「ある」と答えた児童に、その内容を丁寧に、具体的に確かめ、「ない」と答えた児童についても面談をし、「困りごと」がないかなどの聞き取りをした。
- 管理職も含め、全教職員で全校児童の状況を把握した。
- 道徳の授業や学級での取組の中で、友達の大切さや人に対する思いやり、一人一人が持つ大切な命、「いじめ」の構造など、各学年の発達段階に応じて考える時間を持った。

### 現状と今後に向けて

今回の調査で嫌な思いをしたことが「ある」と回答された中には、日常的なトラブルやけんか、いたづら等が多く、すでに本人同士で解決できていたこともありました。

身体や生命が脅かされたりするような事態に至る可能性のある事例はありませんでしたが、SNS を通したトラブルは増加傾向にあります。

まだ、解決していなかったことについては、関係している児童の双方から話を聞いて、お互いに思いを伝え合うことで納得したり、学級全体でいじめについて考え合ったりして解消しました。

本人はアンケートに書かなくても学校が捉えている事象については、見守りを丁寧にしていきます。2月に再度聞き取りをして確認する予定です。

今後も引き続き「いじめは、どの学級でも、どの子どもにも起こり得るものである。」という前提に立ち、児童を注意深く見守ったり、情報を集めたりしながら、必要なことについてはその都度指導をしていきます。

保護者の皆様や地域の皆様からのお知らせで、「いじめ」が認識できる場合もあります。学校でも「いじめ」の掌握に全教職員で努めますが、気になっておられることや心配なことがありましたら、些細なことでも結構ですので、学校にお知らせください。よろしくお願いいたします。